

タンザニア紹介式～タンザニアの子ども達への支援～



三水小学校では、全校でアルミ缶収集活動を行っています。そのアルミ缶収集での収益金を、タンザニアの子ども達への支援のために寄付しています。なぜ、タンザニアにというと、統合前の三水第二小学校の校区に住んでいるタンザニア出身の小林フィテアさんからタンザニアの様子を教えていただいたことから、寄付活動が始まりました。統合後の三水小学校でも引き続き活動しています。紹介式にフィテアさんと一成さんが来校され、タンザニアのあいさつ「ジャンボ（こんにちわ）」「アサンテ（ありがとう）」や、タンザニアの自然についてのことや、アルミ缶いくつ分で鉛筆やボールペンや果物などが手に入れられるのかということなど、いろいろなことを教えていただきました。昨年の収益金で20人の子どもが学校に通うことができたそうです。たくさんのアルミ缶を協力して集め、タンザニアの多くの子ども達の笑顔を咲かせましょう。